

「ご縁に感謝」

(株)ミツケホーム 代表取締役 みつけ 三附 まさや 将哉



住 所: 加古川市加古川町篠原町13-3
加古川まるいビル1階
コワーキングスペースmocco加古川内
営業内容: 建設業(新築・リフォーム)



©MITSUKEHOME

今年の2月に新築・リフォーム屋さんとして起業しました。26歳で起業するのは早すぎると言われることもありましたが、そんな中で起業出来たのは、たくさんの「ご縁」があったからです。

【ご縁を大切にするワケ】
『毎日が勉強であり、他人から得られる情報や考え、思いやりはその人からでないことと学べない。学んで理解することにより人生が豊かになり、幸せな生活が送れる。』
端的ですが、この考え方が今の生活に合い、実践するこ

とで豊かになれているからです。私にはトラウマがあり、最近まで他人だけでなく家族でさえ信用できない人間でした。それが変わり始めたのは4年前ぐらいだと思います。その時は大工をしており、棟上げ中の落下事故により入院していました。

今思うと、この事故は良いターニングポイントだったと考えます。退院後は、大工を辞め、人生で初めて会社員をし、現場監督として大工時代には見えなかった建築を知り、たくさんの方と繋がりができ、何よりも人生で初めて大好きになった人と出会い、環境が変わることによる自身の変化を感じる事ができました。

また、私が「社長になりたい!」と思っただけの1つとして、趣味の話になりますが、私はスーパーカーが大好きで、大工当時の給料を全てつぎ込み(笑)、後先も考えずローンが組める限界で買ったアメ車に乗っていました。スーパーカーに会うために、県外のイベントや兵庫のスーパーカーが集まる場所へ仕事終わりでも毎日のようにドライブをし、仲間を見かけたら声かけをしに行くのが日課でした。その中で、たくさんの社長さんと話す機会があり、普段は絶対に聞けないような内容が、当たり前のように聞ける事の幸せに気づきました。そして、社長さんたちの

考えや生活が自分の好みだと思っただけがきっかけです。

きっかけがあっても行動出来ないのが人間の性ですが、私は落下事故という大きな転機のおかげで自分がやりたいことに気づくことができました。(かなり代償は大きいですが・・・)

それからは考えを改め、起業への道を模索しました。起業については、周りからマイナスイメージも言われることがあります。私に合ったのは成功者の方の言葉。だからこそ、起業までたどり着けたと考えます。起業したことがゴールではなく、ようやくスタート地点に立つことができました。

今年は転機の1年です。私の掲げる目標(兵庫県の新築・リフォームの会社といえば「ミツケホーム」と言われるように、そして、私に関わってくださった方へ恩返しを、これから関わる方へ豊かさを提供できるように日々精進してまいります。まだまだ新参者ですが、どこかでお会いした際は是非お声がけ下さい。「背骨が折れている車好きをやつ」と覚えていただければ幸いです。



三附さんが手掛けられた1件目の施工現場の様子